

2023年6月29日

## 全国約 2700 のダムに対応。放流や職員体制判断を専門気象情報でサポート ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」を提供開始 72 時間先までの流域平均雨量を予測、降水リスクをプッシュ通知でお知らせ

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)はダム管理業務を支援するため、3,500 万ダウンロードのお天気アプリ「ウェザーニュース」を法人専用カスタマイズした「ウェザーニュース for business」において、ダム管理業務専用のサービス提供を開始しました。

日本全国には約 2,700 ものダムが運用されていますが、近年、気候変動の影響でゲリラ雷雨や線状降水帯などの降水現象は激甚化し、発電、治水、農業・生活用水など本来の主要用途に限らず周辺住民の命を守る洪水調整機能としての役割も重要視されるようになりました。このためダム管理業務における気象情報のニーズは高まっており、ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」では、ダムの放流と職員体制の判断を支援します。

本サービスは、お天気アプリ「ウェザーニュース」を開くだけで、ダム専用の気象情報を確認することができます。具体的には、あらかじめ設定した範囲に降る雨量を平均した「流域平均雨量」や、雨の降りだしから流域平均雨量を積算した「累加雨量」について、1 時間毎 72 時間先まで予測します。また、降水量の予測からリスクを 3 段階で判定し、リスクの変化をプッシュ通知でお知らせします。その他、ライブカメラや高性能気象 IoT センサーを活用した実況把握もサポートいたします。

なお、このたびダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」の 2 か月間無償トライアルを実施します。ダムの運用に携わる事業者を対象に本日より 9 月末までの間お申し込みを受け付けておりますので、この機会にぜひお試しください。

ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」に関するお問合せはこちら

<https://biz.weathernews.jp/wfb/#formArea>

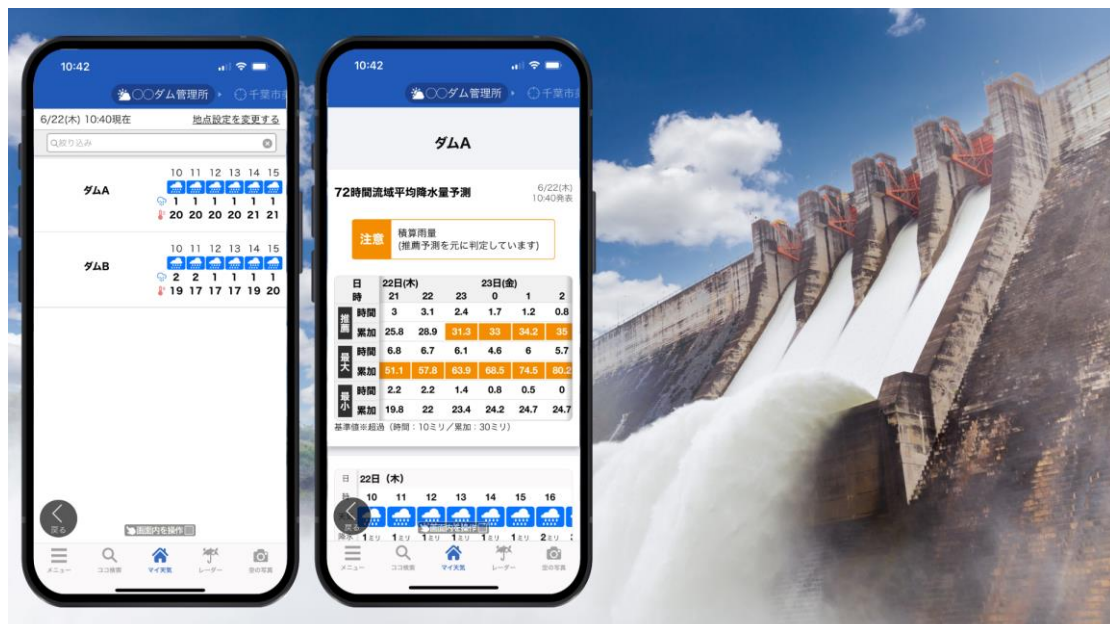


図 1: ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」のアプリ画面

## ◆アプリでダム専用気象情報を提供、ダムの放流や初動体制の確保を支援

令和元年台風 19 号以降、ダムは周辺の住民の命を守る洪水調整機能としての運用も重要視されるようになり、大雨が予想される場合は事前放流を検討するなど、ダムの運用管理における気象情報の重要性は高まっています。また、ダムを管理する現場では人手不足に課題があり、迅速な情報共有や最適な職員体制の確保が求められます。そこで当社は、ダムの放流や職員体制の判断を支援するため、ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business(※1)」の提供を開始しました。



図 2: プッシュ通知を受信したときの様子

本サービスは、スマホで「ウェザーニュース」アプリを開くだけで、ダム専用の気象情報を確認することができます。具体的には予報精度 No.1(※2)のデータを活用し、あらかじめ設定した範囲に降る雨量を平均した「流域平均雨量」や、雨の降りだしから流域平均雨量を積算した「累加雨量」の予測を 1 時間毎 72 時間まで表示します。また、あらかじめ設定した雨量基準に対応して、降水リスクを「通常」、「注意」、「警戒」の 3 段階で判定し、リスクの変化はプッシュ通知でお知らせします。降水リスクの判定は、体制判断の参考情報にご利用いただけます。

その他、ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」では、PC 版の専用ウェブサイトも用意しています。また、予測値はエクセル形式でダウンロードして流入量予測のデータとして利用することも可能です。

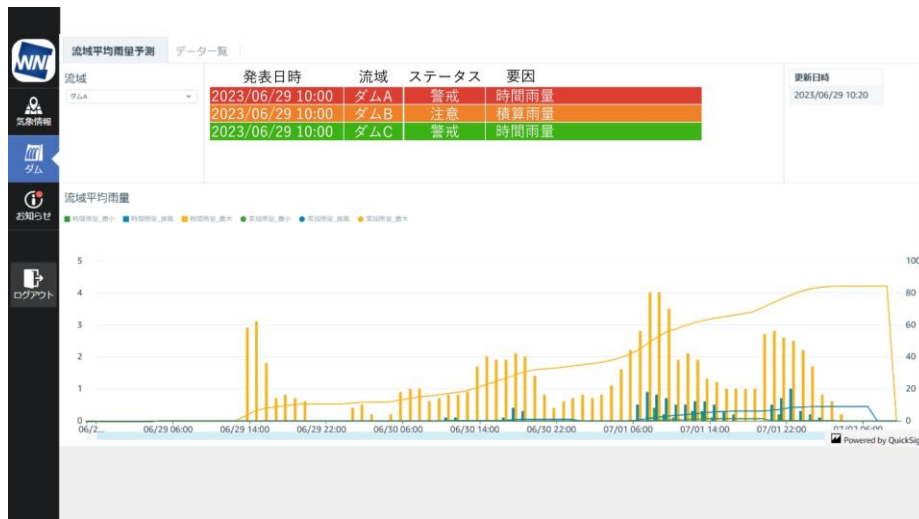


図 3: PC 版専用ウェブサイト

1 時間毎 72 時間先までの「流域平均雨量」と「累加雨量」を表示、リスクをひと目で把握できる  
画面上部中央降水リスクの凡例： 通常(緑)、注意(オレンジ)、警戒(赤) ※雨量基準や対象の予測範囲はカスタマイズが可能

※1 法人向けの SaaS 型サービス「ウェザーニュース for business」: <https://biz.weathernews.jp/wfb/>

予報精度 No.1 を獲得したお天気アプリ「ウェザーニュース」にビジネスで活躍する企業専用ページを追加、いつものお天気アプリ「ウェザーニュース」に、あなたのビジネスで活躍するお天気ページを追加します。施設や店舗、営業所を地点登録することで、ビジネスの意思決定に関わるプッシュ通知をピンポイントで受け取ることができます。

※2「ウェザーニュース」が天気予報サービス予報精度 No.1 を獲得: <https://jp.weathernews.com/news/40290/>

#### ◆9,000 か所以上の河川ライブカメラや気象 IoT センサーで実況把握もサポート

アプリ「ウェザーニュース」では、全国 9,000 か所の河川ライブカメラや、6,000 か所以上の河川水位がグラフで確認でき、氾濫の危険がある際に発表される洪水予報の発表状況がマップ上でひと目でわかります。

その他、オプションで気象 IoT センサー「ソラテナ」をダム周辺に設置し、観測データを確認することも可能です。「ソラテナ」は、雨量・風向・風速・気温などの気象要素を 1 分毎に観測する高性能な気象観測機で、ダム周辺の降水量の確認や屋外作業の熱中症対策として気温の把握にご活用いただけます。なお、本サービスのユーザーは、個人の有料会員向けに提供している 30 時間先までの雨雲レーダーや台風の影響予測などもご利用いただけます。



図 4: 全国の河川ライブカメラの様子をリアルタイムで更新  
通常時と比較しながら確認することが可能

#### ◆ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」の無償トライアル実施

このたび当社はダム関連の事業者を対象に、ダム管理業務向け「ウェザーニュース for business」の 2 か月間無償トライアルを実施します。カスタマイズされた専用画面やプッシュ通知機能をご利用いただけますので、ダム管理に関わる法人の方は 9 月末までにお申し込みください。

##### < 無償トライアル詳細 >

対 象 : ダム管理に関わる法人  
利 用 期 間 : トライアル開始から 2 か月間  
申 込 締 切 : 2023 年 9 月 30 日  
申 込 フォーム : <https://biz.weathernews.jp/wfb/#formArea>

##### ▼サービスに関するお問い合わせ先はこちら

<https://biz.weathernews.jp/contact/>

##### ◆関連のプレスリリース

法人向け新サービス「ウェザーニュース for business」を提供開始  
<https://jp.weathernews.com/news/41490/>

省電力化した新型「ソラテナ」、本日より販売開始  
<https://jp.weathernews.com/news/39520/>